

## 食育の推進状況・旬産旬消・地産地消の現状

学校教育部 学校教育課

## 1 授業時間における食に関する指導回数（年間延べ回数）

	R3	R2
小学1年	557	532
小学2年	635	512
小学3年	1047	604
小学4年	765	564
小学5年	1452	886
小学6年	984	773
特別支援学級	360	200
中学1年	1371	961
中学2年	1007	449
中学3年	1070	237
特別支援学級	719	111
特別支援学校小学部	68	45
特別支援学校中学部	32	29
計	10067	5903

## 2 給食（昼食）の時間における食に関する指導回数（年間延べ回数）

	R3	R2
小学1年	3241	2072
小学2年	3302	2061
小学3年	3527	2059
小学4年	3453	2058
小学5年	3097	2048
小学6年	3093	2048
特別支援学級	466	511
中学1年	1647	2298
中学2年	1591	2301
中学3年	1397	2074
特別支援学級	661	844
特別支援学校小学部	780	780
特別支援学校中学部	450	468
計	26705	21622

体験活動を伴う食に関する指導について

	R3			R2		
	小学校	中学校	特別支援学校	小学校	中学校	特別支援学校
ア 食の生産に関する活動 (栽培体験・農水産作業体験等)	21	7	1	21	7	1
イ 食の調理・消費に関する活動 (調理体験・調理実習・調理実験等)	15	6	1	13	6	1
ウ 職業体験活動	4	4	0	2	2	0
エ その他	1	2	0	0	2	1
オ 特に実施しなかった	3	4	0	2	3	0
計	44	23	2	38	20	3

学校における全ての教職員のうち、食に関する研修（会）、講演会等に参加した教職員の人数  
※校内研修（職員会議）を含む。

	R3	R2
すべての教職員数	1425	1366
参加教職員数	1067	1032

給食で使用する/使用した地場産物に関する指導（R3のみ）

	小学校	中学校	特別支援学校
ア 実施した	21	11	1
イ 実施しなかった	3	1	0

3 昨年度との比較における推進状況

コロナ禍で、家庭科における調理実習が制限される中、各校では様々な教科と連携し食育を推進していることが、授業時間や給食時間における食に関する指導回数の増加からわかる。

また、体験活動を伴う食に関する指導では、外部講師を招聘するなど内容を工夫して取り組んでいる。

さらに、栄養教諭だけでなく管理職や臨時講師を含むすべての教職員に対して、学校給食の衛生管理を含む様々な研修を行っている。